



血液オプション検査のご案内

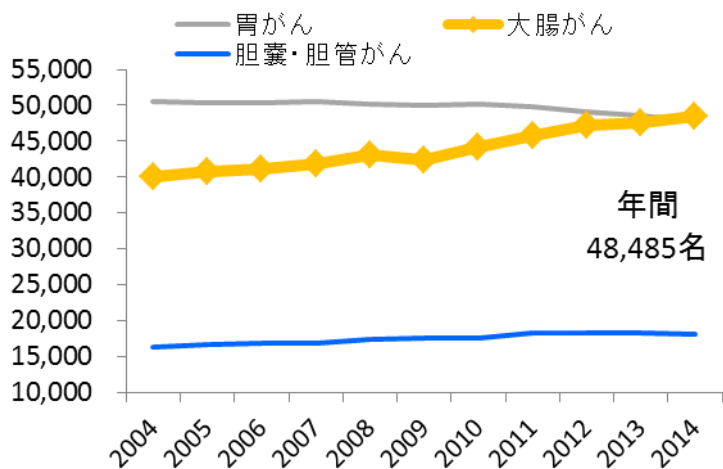
大腸がんのリスク検査

Prodrome-CRC (プロドローム・シーアールシー)

◆ 大腸がんは早期発見が重要

大腸がんは年々死亡者数が増加しており、年間の死亡者数は5万人を超えるとされています。また、初期症状の血便や便通異常などは決して珍しいものではなく、腫瘍ができていても見落とされがちです。早期で発見すれば「治るがん」と言われていますが、ステージ4まで進行してしまうと生存率が劇的に下がります。

そのため早期発見・早期治療が非常に重要になっております。



	ステージ	5年生存率(%)	
		(直腸)	(結腸)
大腸	進行 IV	13.7	14.5
	III	69.0	64.6
	II	79.1	78.6
	初期 I	89	89.5

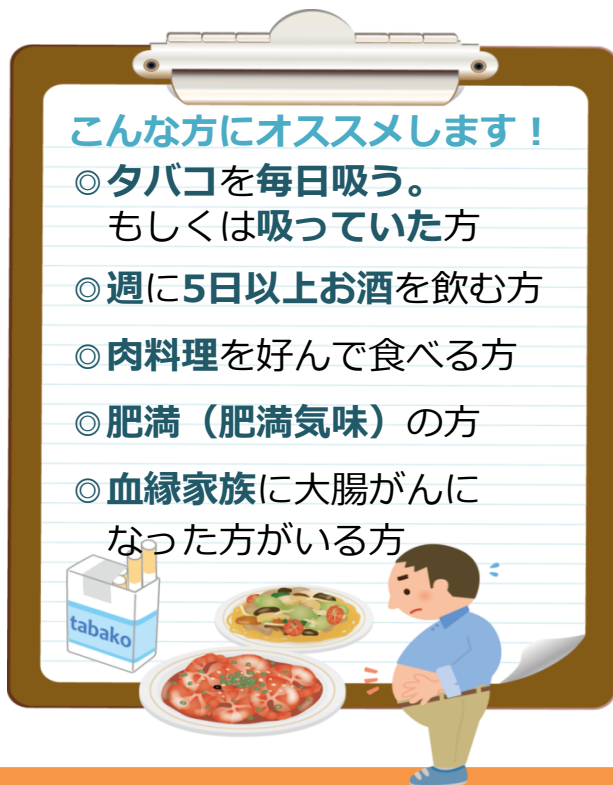
◆ Prodrome-CRC検査とは

大腸がんのリスクを調べる血液検査です。大腸がん患者の血中で特異的に減少する、15種類の長鎖脂肪酸“GTAファミリー”を測定し、大腸がんのリスクを判別しています。

採血のみの簡単な検査で、**早期発見・早期治療のきっかけ**として利用頂くことが可能です。

こんな方にオススメです！

- ◎ **タバコを毎日吸う。**
もしくは吸っていた方
- ◎ **週に5日以上お酒を飲む方**
- ◎ **肉料理を好んで食べる方**
- ◎ **肥満（肥満気味）の方**
- ◎ **血縁家族に大腸がんになった方がいる方**



報告レポートイメージ

検査結果と、結果に対する
評価コメントを記載

検査に関する情報と予防する
ためのヒントアドバイス付き

検査と結果判定に対する
コメントも記載

Prodrome-CRC — 大腸がんリスク検査 — 結果報告書

カルテID 999999999 氏名 テストー部 様

受診日 2018/2/13 性別 男性 年齢 70

大腸がんリスク判定結果

Prodrome-CRCの結果、長鎖脂肪酸の値は、レベル 9 と 大幅に少なく
大腸がんのリスクは **高リスク** と判定されました。

総合評価コメント

今回の検査結果では長鎖脂肪酸の値が低下しており、大腸がんのリスクが非常に高い状態であると判定されました。
必要に応じて専門医の受診や精密検査の受診をご検討下さい。

検査受診後について

低リスク ※レベル: 20~100	- 健康的な生活習慣の維持 - リスク因子の低減による予防
中リスク ※レベル: 11~25	定期的ながん検診やリスク検査の受診 (Prodrome-CRC テストの再受診の目安) 低リスク 1~2年、中リスク 半年~1年
高リスク ※レベル: 0~10	医療機関とご相談の上、専門医の受診をご検討下さい。 ※ 必要に応じて精密検査(内視鏡検査)の実施をお勧めします。

※あくまでも一例です。必要に応じて専門医の受診や精密検査の実施をお勧めします。

◆ Prodrome-CRCについて

検査概要

本検査では15種類の長鎖脂肪酸(以下 GTAファミリーと記載)の血中濃度を測定しています。これらは健康な状態から大腸がんが発症している段階で減少すると考えられています。
人体では、慢性的に過剰な炎症が生じたり、古くなった細胞が蓄積することでがんが発生やすくなると考えられています。GTAファミリーはこれを抑制することでがんの発生を抑える働きがあると考えられています。そのためGTAファミリーの減少は、大腸がんの発症リスクを高める可能性があると考えられています。
※1 長鎖脂肪酸: 細胞を構成する物質で、その機能や形状を正しく保つ働きがあります。

結果判定

GTAファミリーが非常に少ない場合は高リスク、やや少ない場合は中リスク、十分に存在する場合は低リスクと判定します。
中リスクの場合、低リスクに比べてがんが見つかる確率が10倍近く高くなります。
高リスクの場合では、同様に100倍以上高くなります※2。
※2 55-59歳 男性の場合: 中リスク/低リスク = 11 倍、高リスク/低リスク = 143 倍

受診後の対応

生活習慣を見直しリスクの低減に努めるとともに、定期的な検査の受診をお勧めします。また、必要に応じて、大腸内視鏡などの精密検査を受けることをお勧めします。

測定・解析: PRODROME SCIENCES INC. 販売: NKmedico

Prodrome-CRCで低・中リスク判定だった方に…

大腸がん発症の危険性を増加させるリスク因子がいくつか報告されています。予防の第一歩として生活習慣の改善を心がけましょう。

食生活 赤身肉や加工肉(ベーコン、ハム等)の過剰摂取は大腸がんのリスクを上昇させるといわれています。	喫煙 喫煙は大腸がんの発症危険度を増加させることが報告されています。また、動脈硬化やその他のがんのリスク因子としても考えられています。
アルコール アルコールを1日1食以上摂取する方では、お酒を飲まない人に比べて、2倍以上大腸がんのリスクが高まるとされています。 ※エタノール量換算で約150g程度	肥満 肥満は大腸がんの発症危険度を増加させることが報告されています。特に男性ではBMI(肥満指数)が25以上の方では、それ以下の人に比べて発症の危険度が約1.5倍は高まると報告されています。

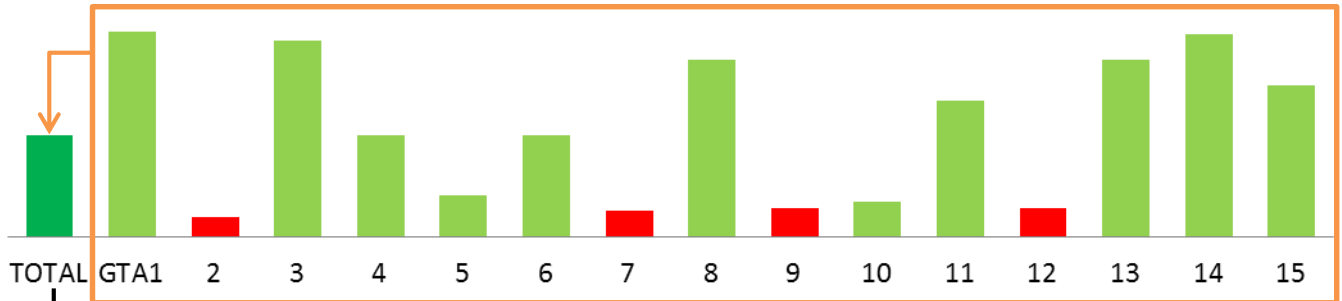
※参考: 国立がん研究センター がん情報サービス 科学的根拠に基づく大腸がんの予防に関する大腸がん予防ガイドラインに関する研究

Prodrome-CRCで高リスク判定だった方に…

本検査で高リスク判定だった方には必要に応じて専門外来の受診や精密検査の実施をおすすめしています。(下記は実施例です。)

大腸内視鏡検査 肛門から、管状のカメラを入れて、大腸全体を観察する検査方法です。大腸がん、大腸ポリープ、などの疾患の発見に役立っています。	大腸3D-CT検査 X線とコンピュータを使用し大腸の画像を撮影する検査方法です。内視鏡を挿入せず大腸の鮮明な画像を撮影できるため、バーチャル大腸内視鏡検査とも呼ばれています。
---	---

◆ 評価方法



【低リスク】
発見確率
1人/10,000-100,000人

【中リスク】
発見確率
1人/1,000-10,000人

【高リスク】
発見確率
1人/100-1,000人

Prodrome-CRCをスクリーニングに用いることで
大腸がんの早期発見・早期治療の可能性を高めることが可能です。

- ※ Prodrome-CRCは大腸がんのリスクを判定する保険未収載の検査です。
- ※ 大腸がんの有無をProdrome-CRCの結果のみで判定する目的で行う検査ではありません。
- ※ 他検査の結果と併せて今後の検査・治療方針の検討にお役立て頂くことをお勧めいたします。